

入学式 式辞

校庭に色とりどりの花が咲き、木々には新たな芽が伸びようとする春爛漫のこの佳き日に、ご来賓並びに多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに大阪府立牧野高等学校 平成三十年度入学式を挙行できますことは誠に慶びに堪えませぬ。

只今、入学を許可された、三百六十名の新入生の皆さん、入学おめでとう。牧野高校を代表して、皆さんのご入学を心から歓迎します。

保護者の皆様には、牧校生になられたお子様の姿をご覧になり、感慨も一入のことと拝察します。

お子様の牧野高校へのご入学を 心からお慶び申し上げます。

さて、新入生の皆さんは、牧野高校の第四十三期生として、本日、その第一歩を踏み出しました。

牧野高校は、勉強も、部活動も学校行事も、生徒が、全力で取り組む伝統のある学校です。しっかりと勉強に励み、希望の進路を実現する、部活を頑張つて、心身や感性を鍛える、ここでの

新しい出会いを通じて生涯の友を作る、こうした充実した高校生活が過ごせる学校です。

牧野高校で培う精神は、「自尊」「自浄」「自助」です。「自尊」は、自らをかけがえのない存在として活かすように生きること、「自浄」は、志や使命感を持って清く生きること、「自助」は、失敗に挫けず幾度でも自らの力で立ち上がり

生きることです。学校は、様々なことに挑戦し、失敗して学ぶ場所と思つて、ひとりひとりが高い目標を定め、毎日果敢に挑戦してほしいと思います。

高校での勉強は、中学までとは比べ物にならないくらい、質も量もたつぷりとあります。教科の中で科目が分かれて、内容も濃くなります。毎日、平均で最低でも二時間以上は勉強しないと、進いっかなくなりません。「高校に入ったら、とにかく勉強時間を増やすんだ」ということを、まず心に

留めておいてください。

牧校の多くの先輩たちは、部活や体育祭、文化祭などの学校行事を満喫する一方で、毎日しつかりと学習時間も確保して、自らの希望の進路を実現させて来たということを覚えておいてください。

でも、心配には及びません。牧野高校の先生方はプロフェッショナルぞろいです。勉強することの楽しさ、知ることの喜び、探求や発見することの嬉しさを上手に教えてくれます。授業中は、とにかく授業に集中し、与えられた宿題や予習・復習をきちんに行なうことで、学力は着実に上がっていくはずですよ。

数学には完璧な体系の美しさが、国語には論理の追求と優雅な感性の楽しみが、英語には異文化を知り、世界中の人と繋がる嬉しさがあります。

理科には発見や探求の喜びが、社会には事実の裏にある人々の営みを考察する面白さがあります。保健は体のことを知る驚き、体育には体を動かす爽快さ、芸術には創作・創造の歓びが、家庭科や情報には、知って実践する楽しさがあります。

さて、こういうお話をして、皆さんの中には、これからは人工知能・AIの発達で、人間の能力を上回る知的な作業をしたり、ロボットが人間に代わって仕事をしたりする時代が来ると言われているのに、勉強する意味があるのかと思う人

がいるかもしれません。英語だって、自動翻訳機が発達すれば、出来なくても大丈夫と考える人があるかもしれません。実は全く逆なのです。

皆さんにとって、今、そうした未来が見えているからこそ、ますます勉強する必要があるのです。

科学技術の進歩は、私たちに、世界のこととはまだ分からないことだらけという現実を突きつけています。宇宙の将来の姿や、生命体の生成など、多くの謎を投げかけています。人類の持続のため、地球温暖化や食料・エネルギー源の確保など、

解決すべき課題が山積しています。勉強は、単に知識を覚えて、テストの点を取るためのものではありません。教科書には、人類が生きていくために、長い時間の中で獲得してきた英知、最低限知っておくべき必要な事柄が盛り込まれています。

その教科書で、答えを出す訓練を繰り返すことで、将来、大学や社会に出て、答えの出ていない問題への対応の仕方を学ぶ必要があるのです。一生懸命やれば知恵が出る、中途半端にやれば愚痴が出る、いい加減にやれば言い訳ばかり出る、

という言葉があります。勉強のみならず、部活や学校行事についても、真剣に取り組んで、充実した三年間にしてください。期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様に大事なお話を申し上げます。大切なお子様を、本日より本校の生徒として確かにお預かりいたします。既に、言われている通り、現代は、表面的な学歴でその後の安楽な人生や、生活が保障される時代ではありません。本物の学力を身につけることこそが、二十一世紀を生き抜く鍵になります。本校で

学んだ生徒が、十年後、二十年後、社会で活躍できるように、三年間で大いなる成長を目指して、教職員の総力を挙げ、指導にあたる所存です。

一方で家庭での学習は、学校での授業とともに、高校生にとって学力をつける大事な両輪の一つです。家庭での学習時間の確保、毎日の良い習慣の定着にご協力いただければ有り難く存じます。高校三年間の成長の過程の中では、中学校までとは違う事柄が出てくると思います。どうか、お子様同士が、お互いの個性を尊重し、切磋琢磨する

ことを、「寛容」な精神で見守っていただきたいと思います。そして、保護者の皆様同士が、同じ牧高の仲間として、お互いにお付き合いをいただけたら幸いに存じます。よりよい学校教育には、家庭と学校との緊密な連携と相互理解は不可欠

です。本校の運営につきまして、特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。式辞とします。

平成三十年四月九日

大阪府立牧野高等学校

校長 日 笠 賢